

科目ナンバー	B2503	要件	選択必修	授業形態	講義	対象学生	I A B
授業科目	人権論						
実施期	後期	単位数	2単位	授業担当者	東中章晃		
【科目の概要】							
日本社会の中に潜む様々な人権問題に焦点を当てながら、まずは現状をしっかりと認識する。そのうえで、歴史的な経緯を含めて何が問題なのかということについての正しい理解と認識を深める。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	現代社会の中にある人権問題について、歴史的経緯と現状を認識している。						1-b
イ	「ことば」を「人権」の視点から捉え、正しい表現を身に付けている。						2-b
ウ	人権問題の本質を見抜き、あらゆる差別を許さない人権意識を確立している。						3-b
エ	社会や人との関わりの中で常に他者を思いやる意識を持つように心掛けている。						4-a
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	授業についての概要説明及び意識調査			月 日	シラバスを確認しておく。(0.5時間)		
2	「人権とは？」・日本国内における人権問題の概要			月 日	「憲法」の第10条から第25条までを確認しておく。(1時間)		
3	同和問題（「融和論」の是非を視点として）			月 日	高校までの学習を振り返っておく。(1時間)		
4	女性の人権（セクシャルハラスメント・DV等）			月 日	ジェンダーについて、自分の考えを整理しておく。(1時間)		
5	在日外国人の人権（歴史に学ぶ・現状と問題点）			月 日	高校までの学習を振り返っておく。(1時間)		
6	障がい者及び高齢者の人権（現状と問題点）			月 日	高校までの学習を振り返っておく。(1時間)		
7	幼児・児童の人権及び「いじめ」に関する問題			月 日	「子どもの権利条約」について調べておく。(1時間)		
8	日本国内における民族差別及び「獲得を目指す力」の確認			月 日	「民族」について調べておく。(1時間)		
9	世界における人権問題の概要			月 日	「世界人権宣言」について調べておく。(1時間)		
10	「ことば」と「人権」			月 日	「放送禁止用語」について調べておく。(1時間)		
11	「人権」とコミュニケーション（共生社会の実現を目指して）			月 日	「共生社会」について調べておく。(1時間)		
12	「環境」と「人権」			月 日	日本国内の環境問題について調べておく。(1時間)		
13	「健康」と「人権」			月 日	「食の安全」や「薬物の問題」について調べておく。(2時間)		
14	日本社会の特性と人権問題の本質			月 日	前回までの授業内容を振り返っておく。(1時間)		
15	「人権文化」の創造			月 日	「人権」に関する自分の考えを整理する。(1時間)		
16				月 日			
【教科書・テキスト】				【成績評価の方法】			
適宜、資料を配付する。				レポート課題 70%、学習意欲・受講態度 30%			
【参考書・教材】							
必要に応じて紹介する。							
【履修要件及び履修上の注意事項】							
【履修上の遵守事項】							
【連絡先・オフィスアワー】							
連絡先： 図書館事務室				オフィスアワー：			

〈チェックシート〉					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア ①	日本国内に存在する人権問題についての正しい知識		日本国内にはどのような人権問題が存在しているのかについて書くことができる。	それぞれの人権問題に関する歴史的経緯について述べるることができる。	それぞれの人権問題の現状と問題点について正しく説明できる。
ア ②	人権問題に対する認識		人権問題に関する正しい知識を持つことの必要性について書くことができる。	私たちの身の回りのいたる所に「人権」に関わる問題が存在していることについて述べるることができる。	人権問題が私達一人一人にとって非常に重要な問題であることを説明できる。
イ ①	「ことば」がもつ力についての認識と正しい表現力		「ことば」がもつ力について述べるることができる。	使用してはならないことばや使用に際して注意を要することばの存在とその理由について説明できる。	「ことば」を用いて正しく表現できる。
イ ②	人間関係の構築や問題解決のためのコミュニケーション力		コミュニケーション力の必要性について述べることができる。	問題を抱えている人とコミュニケーションを図る際の注意点等について説明することができる。	他者理解のためのコミュニケーション力を発揮できる。
ウ ①	人権問題の本質についての理解		全ての人権問題が人間関係(社会)の中のみ存在していることについて書くことができる。	「予断」や「偏見」、「利己心」のもつ危険性について述べることができる。	人権問題のすべてが全く不合理なものであることを説明できる。
ウ ②	あらゆる差別を許さない人権意識		「差別」はすべて人によって作られたものであることを文章で表現できる。	人によって作られた「差別」を無くすことは、我々一人一人にとっての責務であることについて述べるることができる。	「差別」を許さない姿勢は、人としての大切なプライドであることを説明できる。
エ	常に相手の立場に立って物事を考えようとする姿勢		積極的に人や社会に関わろうと努力できる。	多様な個性や価値観があることを説明できる。	人それぞれの「違い」を受け止め、理解し、尊重できる。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					